

学校教育目標 「心豊かな中学生」「自ら学ぶ中学生」「活力あふれる中学生」



常盤のみどり

第450号 令和3年 2月 1日(月)

さいたま市立常盤中学校

〒330-0075

さいたま市浦和区針ヶ谷4-1-9

TEL 048-831-3189

FAX 048-830-1561

E-mail:tokiwa-j@saitama-city.ed.jp



9組棟前に咲く菜の花。
花言葉は『快活』『明るさ』
『豊かさ』とポジティブです。

ご縁あって



SINCE 1947

校長 渡邊 祐子

春に向け、草木が芽吹く頃となりました。
一方で、寒さの本番はこれから。その名の通り、重ね着が必要な如月です。

さて、新型コロナウイルス感染症により、人との関わり方が変わってきた今、改めて考えさせられるのが人とのつながり、縁についてです。

皆様にとって、一番長くお付き合いされているご友人は何年来の方ですか？最も遠方にいらっしゃるお知り合いは、どこにお住まいの方ですか？最も新しくお知り合いになられた方は、同性ですか？異性ですか？おいくつ離れていらっしゃるでしょうか？……

常盤中学校では、1947年、昭和22年に開校して以来73年間、多くの生徒職員が共に学んでいます。遠い地ではこれまでにニュージーランドの学校との交流をもちました。また、昨年度からは佐野市立常盤中学校とのご縁をいただいているところです。

昔から、「袖振り合うも多生の縁」（知らない人とたまたま道で袖が触れ合うようなちょっとしたことも、単なる偶然ではなく、前世からの深い因縁によって起こるもの）と言われており、人と人との出会いには、不思議な力が働いています。ご縁という言葉も日本特有のもので、God Gift（神様からの贈り物）と意をくんで英訳された方がいました。

良好な人間関係は、精神的な支援や物理的なサポートにより、安心感が得られ、個人の健康維持や幸福感、ひいては新たな挑戦への後押しに貢献します。また、自分だけでは知ることのなかった新たな情報や未知の世界に触れられ、自己の価値観や視野を広げます。

今月は本校にとって新たな関係であり、偶然、「常盤中」という同一名称の佐野市立常盤中学校との交流会を、直接顔を合わせることなく、オンラインで開催します。

佐野市立常盤中学校は、令和元年東日本台風の被害から、生徒の登下校に不便が生じ、体育館の修理も必要となった学校です。また二年後には生徒の減少により閉校予定でもあります。環境の違う佐野の33名の生徒と、本校生徒840名は今後どのようなつながりを結んでいくのでしょうか。互いに刺激し合い、多くの示唆と発見を与え合える関係に発展してくれるものと期待しています。

現在、両校では3年生がそれぞれの進路に向かって、新たな関係を結んでいるところです。出会いを大切に、ご縁に感謝しながら、関係を深めていきたいものです。